

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 706 号	氏名	塚本 大空
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	下川 功	
	副 査	李 桃生	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、子宮体癌特異的 microRNAs(miRNAs)を同定し子宮体癌臨床像との関連性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 正常子宮粘膜組織に比し子宮体癌組織において有意に発現量に変化する miRNAs を次世代シーケンシング法、並びに定量 RT-PCR 法を用いて選定し、臨床病理学的背景との関連、子宮摘出前後の血漿中流入量の変化、子宮体癌診断の分子腫瘍マーカーとしての有用性を統計学的に検討しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 子宮体癌組織で特異的に発現量に変化する 8 種類の miRNAs が同定された。その内、miR-135b, -205 は子宮体癌患者血漿中で増加、miR-30a-3p, -21 は低下しており、miR-135b, -205, -30a-3p の血漿中流入量は子宮摘出後に有意に低下していた。さらに、血漿中の miR-135b, -205 は高い精度で子宮体癌患者と対照群を識別可能であった。これらの研究成果は、子宮体癌特異的 miRNAs の存在とその臨床的有用性を明確に示しており、今後、子宮体癌特異的 miRNAs の研究は子宮体癌理解のための新しいツールになるものと期待される。</p> <p>以上のように本論文は、子宮体癌の病因病態並びに分子腫瘍マーカーの研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			